

# 議会だより そとがはま

第62号

令和2年11月

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会予定  
12月7日(月)～9日(水)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



**はっしゃオーライ! (風のまちこども園)**

## 目次

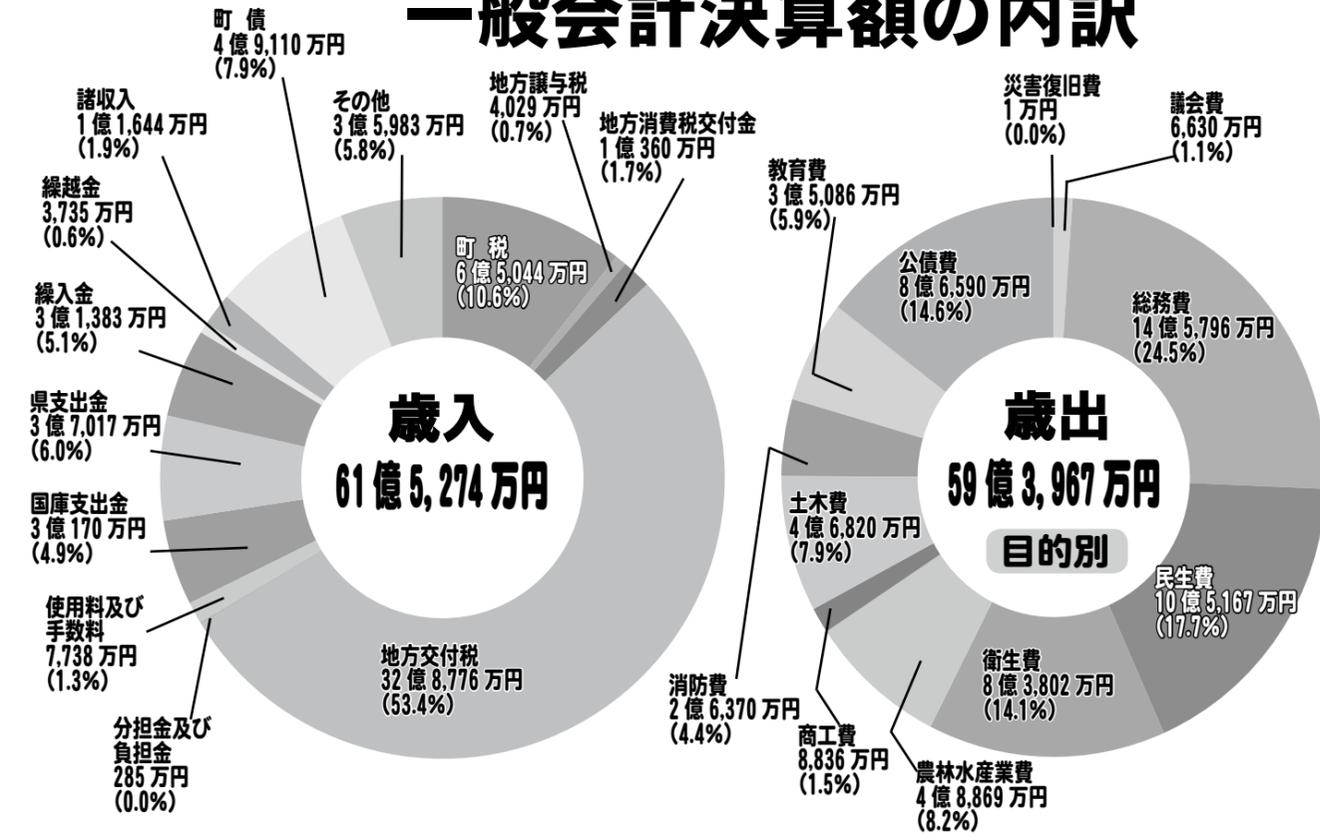
- 第122回9月定例会／2～7
- 一般質問：7議員が登壇／8～14

- 新型コロナ対策／15
- 議会活動報告／16

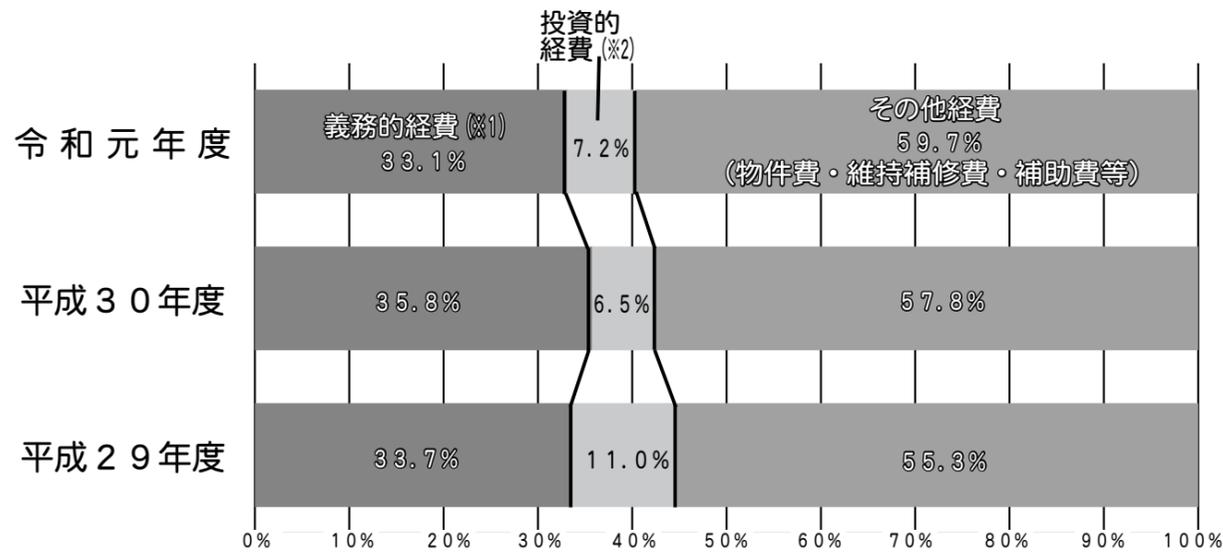
# 令和元年度 一般会計・特別会計・企業会計

# 11会計の歳入歳出決算を認定

## 一般会計決算額の内訳



## 歳出の性質別構成比と推移



(※1) 義務的経費とは、支出が法令で義務付けられた任意に削減出来ない経費で人件費、公債費、扶助費の合計額

(※2) 投資的経費とは、支出が資本の形成に向けられる経費で普通建設事業費、災害復旧事業費の合計額

第122回定例会は、9月4日から9月10日までの7日間の日程で開催されました。補正予算案、町条例の一部修正案、人事案件など合わせて9件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

令和元年度の一般会計、特別会計、企業会計の歳入歳出決算認定については、決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり認定しました。

また、議員発議として地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案を1件提出し、賛成多数で可決しました。

一般質問は、7人の議員が登壇し、通告順に85ページに掲載しています。

### ●令和元年度 一般・特別会計の決算額

区分	歳入	歳出	差引残額	歳出前年度比
一般会計	61億5,274万円	59億3,967万円	2億1,307万円	106.6%
国民健康保険	10億4,668万円	10億4,350万円	318万円	91.7%
介護保険	12億4,483万円	12億2,764万円	1,719万円	97.7%
大字費	85万円	85万円	0円	11.3%
平舘財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
根岸財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
野田財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
下水道	2億6,357万円	2億6,299万円	58万円	101.2%
後期高齢者医療	9,100万円	9,059万円	41万円	99.8%
合計	87億9,968万円	85億6,525万円	2億3,443万円	102.9%

### ●令和元年度 病院事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	11億26万円	11億561万円	▲535万円	101.6%
資本的収支	4,881万円	9,321万円	▲4,440万円	72.1%
合計	11億4,907万円	11億9,882万円	▲4,975万円	98.5%

### ●令和元年度 簡易水道事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	2億4,305万円	2億2,947万円	1,358万円	99.1%
資本的収支	2,747万円	1億1,753万円	▲9,006万円	108.9%
合計	2億7,052万円	3億4,700万円	▲7,648万円	102.2%

※病院事業会計、簡易水道事業会計の決算額には仮受、仮払消費税が含まれた金額で掲載しています。

まちの家計簿  
決算特別委員会で慎重に審査

決算特別委員会（戎 修委員長）は、

9月7日から9日までの3日間にわたって開かれ、慎重に審査しました。

ここでは審査の中から主な質疑について、内容を要約して掲載します。

### 一般会計

【全会一致で認定】

#### 事業補助金

**問** コミュニティ事業補助金、地域づくり事業補助金、コミュニティ活性化事業補助金の大きな趣旨と、補助金をいただくための要件は。

**答** コミュニティ事業補助金は1団体、地域づくり事業補助金は6団体、コミュニティ事業活性化補助金は7団体に交付されている。コミュニティ事業とコミュニティ活性化事業は宝くじ助成であり、自治会のほうから申請を上げ、宝くじ協会のほうで審査していただく。地域づくり事業補

助金は町独自のもので、役場で審査したうえで、地域の団体に対しては1団体当たり50万円を上限に実施している。

#### ふるさと納税

**問** ふるさと納税の事業費170万円。令和元年度の事業として、主な活動や支援はどのようなものがあったのか。

**答** ふるさと納税事業であるが、ふるさと返礼品にかかわる予算の執行であり、令和元年度においてはふるさと納税返礼品は139件あった。マグロの加工品が断トツで多く、そのほかホタテの貝柱や焼き干しイワシなども選ばれている。

#### シルバー人材センター

**問** 退職してまだ60代後半、70代半ばぐらいまで働きたい、賃金が安くても社会貢献をしながら幾らか生活の足しにしたいという方が年々ふえている。そういう方々のために、我が町としても考えていく時期かと思うが。

**答** 県内で令和元年7月現在23カ所あり、東郡管内では平内町が社会福祉協議会に委託する形で行っている。

平内町の状況やほかの状況、今後の活用方法や利用者の状況なども勘案しながら、中身について話し合いをしているところである。

#### スマホパテ駆除

**問** 基本的には本人の駆除が原則ということだが、やはり支所、本庁と担当課に駆除の依頼が来ていると思う。今年の現在までの件数と、去年の件数は。

は10名、額として18万621円となった。  
**問** 滞納額だが、現年の分の47万4200円は何人分なのか、平成30年度の24万7270円は何人分なのか。

平成30年度は1名分、令和元年度は9名に分っている。  
**問** 督促手数料3200円ということは、32件分だと思うが、督促する場合どういう形でしているのか

#### 督促手数料

毎月10日頃、未納のお知らせとして前段階の文書を発送している。そして毎月20日頃、督促状を出している。1000円かける32件、人数にして25人いた。

（※）インセンティブとは  
平成30年度に新設された保険者努力支援制度に基づき、特定健診受診等向上のための動機づけを、総じてインセンティブという。

#### 蟹田地区は、今年度職員が駆除したのは4件、防護服の貸出が5件。令和元年度は駆除が4件、貸出が9件。平館地区は、今年度は駆除が11件、防護服の貸出が3件。令和元年度は駆除が15件、貸出が5件。三厩地区は、今年度は現在まで52件の依頼があり、職員及び住民課等の職員が駆除したのは24件、未処理が7件、それ以外については防護服の貸出と管理者への連絡で済んでいる。

**問** 今回のコロナ禍の中で町民から相談はきているのか。学費の問題で大変な方々に、途中からでも奨学金の貸付などで、地元出身の子どもたちが大学を卒業できるように町として支援していただきたい。

**答** 在学大学生の保護者からの問い合わせ、奨学金やコロナ関係での問い合わせは今のところない。ただ、町のほうで、大学生に関して援助資金として、在学の学生に5万円、アパート等に住んでいる学生に10万円の助成を行う申請等を受付、支給している。



#### 龍飛岬観光案内所

**問** 過去3年間の入館者数と、案内所の中にセキユリテイが完備された特別展示室があるが、去年そして今年と、どういうものを展示しているのか。

入館者数だが、平成29年度において5351

### 国民健康保険特別会計決算に対する反対討論

安藤 英博議員

多くの町民から国保税が高くて払えないと懸念が広がっている。国保にはフリーランスや非正規雇用、年金生活者など経済的にも弱い立場の方々が多く加入しており、サラリーマンの健康保険料に比べて2倍を超える保険料は、命の平等に反し憲法25条の生存権を侵害する事態である。全国知事会、市長会などが求めているように国庫負担をふやして税を引き下げるべきである。国保加入者の大きな負担となっている、外ヶ浜町の将来を担う子どもたちの均等割をやめて、子どもがいる家庭を支援することが必要である。

### 後期高齢者医療特別会計決算に対する反対討論

原 芳雄議員

2008年4月に開始された後期高齢者医療制度は75歳以上の人口がふえるほど保険料アップにつながる仕組みとなっており、値上げの方向に歯止めがかかっていない。本決算で滞納額が72万1470円と計上されている中、令和2年度の保険料は、被保険者全員が納める均等割が4万514円から4万4千円に、所得割が7.41%から8.3%に引き上げられ、さらに保険料の均等割も軽減割合が8.5割から7.5割に引き下げられた。医療制度が高齢者の健康を守るどころか、手遅れを生み出している。長生きを脅かし、高齢者につらい後期高齢者医療制度を廃止し、元の老人保健制度に戻すことを訴えて反対の討論とする。

### 国民健康保険特別会計

【賛成8・反対2で認定】

#### 特定保健指導

**問** 特定健診の実施率が、平成29年が32.6%、30年が34.1%と横ばいなのだが、特定保健指導実施率が、平成29年で37.3%、30年度が11.1%ということとで、前年度から26.2%が減になった理由は。

**答** 理由としては、保健指導は保健師にやってもらっているが、保健師の事務量が増加しており、28年、29年と1名減になっていたことから訪問指導がなかなかできない状態が続いており、30年度はそのようになっていると思う。今後、インセンティブ事業等でPRもしながら実施率の増加に努めていきたいと考えている。今年保健師1名新採用になっているので、その分の効果も見込めると思う。

### 後期高齢者医療特別会計

【賛成8・反対2で認定】

#### 保険加入者

**問** 後期高齢者保険に加入している決算時の加入者と、その前の年の加入者の増減は。それから、国民健康保険税と同じように、短期保険者証はあるのか。

**答** 決算時点での保険者数は1608人、9月1日現在が1606人になっている。短期証については発行されていない。

#### 保険料は平均して1人当たり何円になっているのか。国民健康保険に入っている、75歳以上になっ

たから後期高齢者のほうへ移行するわけだが、移った被扶養者の分の減額は幾らなのか。

**答** 1人当たりの保険料は5万4791円。扶養家族だった方への特別措置としての減免だが、こちら

一般会計

大平山元遺跡

大平山元遺跡は世界に誇る遺跡になると思つて...

9月の補正予算では来場者の受け入れ態勢の整備のため、広場の用地を...

今後ますます大平山元遺跡は注目されてくると思う。...

担当課、総務課、建設課、産業観光課それぞれからスタッフを集めての活用対策会議を設けている...



大平山元遺跡

9月補正予算の状況

●一般会計・特別会計

Table with 3 columns: 会計名, 補正額, 補正後の予算額. Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, etc.

●企業会計

Table with 3 columns: 会計名, 補正額, 補正後の予算額. Rows include 病院事業会計, 簡易水道事業会計, etc.

トンネル記念館

新型コロナウイルスの影響を受けて臨時休館を余儀なくされており、7月23日から26日の4日間及び8月1日から23日までの間営業したということだが...

病院事業会計

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金、コロナの疑いの患者が来て、これに対応する医療従事者が防護服を着て対応をした事例があるのか...

作業量だが、県外の方との接触や熱があるなど、この患者にコロナの疑いがあるのではという視点で診察している点において...

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)

条例案審議

9月定例会において審議し、可決された条例案は次のとおりです。

外ヶ浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例案

人事案件

令和2年12月31日に任期が満了となる、人権擁護委員・松山義幸氏が引き続き推選され、適任と答申することに決定しました。

意見書案が可決されたことにより、本意見書は9月10日付けで次の各大臣等に送付しました。

- 衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣
内閣官房長官
経済再生担当大臣
まち・ひと・しごと創生担当大臣

トンネル記念館は現在一般での運営をしておらず、団体のみの予約で対応することになって...

トンネル記念館以外で休館している施設はない。うちPCR検査を執行したのは5件である。

トンネル記念館は現在一般での運営をしておらず、団体のみの予約で対応することになって...

【提出者】 柚谷 和穂
【賛成者】 戒 修・浜谷 恭市
【採決】 賛成多数で可決



三上 満議員

### 再選出馬のご意思やいかに!!

■答弁▼強い思いをもって出馬表明する

◆質問／山崎町長は平成29年4月に外ヶ浜町長に就任以来、町に新しい風を取り込むべく、町政を進める上で町民が何を望み、行政は第一になにをなすべきか、自らの目で



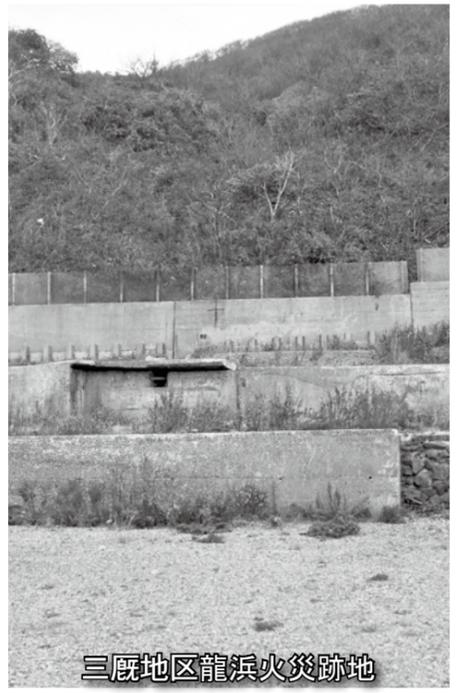
昨年のUmami Amori Food Fair

耳で感じるものが絶対欠かせないという基本姿勢のもとで、リーダーシップを発揮している。さらに、高齢化が進む当町において町民の皆さんが住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、保健、医療、福祉のきめ細やかなサービスの提供と同時に、安心・安全なまちづくりを努め、基幹産業の支援イベントの実施による町の情報発信の一層の強化のための取り組みを進めてきた。

■町長／はつきりと出馬する気持ちであるということを発表します。私が町長選挙を目指す理由については、まず大きく3つあります。1つ目、私が今現在最優先で取り組むべきことは、コロナ対策のことです。町民の健康と生活を守るために、継続して今全力で取り組みます。

2つ目は、私が一丁目一番地として掲げてきた公約であるホタテ残渣の処理の問題について、また龍浜の火災跡地の問題について、今私の持てる力全てで解決をしたいと強く望むからです。3つ目は、新しい風を元に戻さないことがとても大事だからです。

魅力あふれる外ヶ浜町のために、将来を思う町の方々と一緒に持続可能なこの外ヶ浜町と一緒につくっていききたい。そしてその先頭に立たせていただきます。そういったこの強い思いを持って、この場で次回の町長選挙の出馬の意を表明させていただきます。



三尻地区龍浜火災跡地



記田慶市議員

### 旧平館小・中学校の利活用計画について

■答弁▼広域避難所としての機能を生かし 公共施設の移転・活用をしたい

◆質問／これまでの取組経過は。 ■町長／両校の建物については老朽度合いも低く、

近隣の公共施設と比較しても新しい施設で、利活用を積極的に行う意向で検討してきた。

■総務課長／そのようなところまでは進んでいない。町の利活用をどのようにするかを固めてからにしたい。

(参考) 公共施設等への廃校利活用事例

自治体	廃校舎	利活用の内容
奈良県	旧耳成高等学校	庁舎として活用
島根県益田市	旧北仙道小学校	社会教育施設として活用
和歌山県海南市	旧第一中学校	社会体育施設として活用
宮城県加美町	旧上多田川小学校	音楽技能習得施設として活用
高知県室戸市	旧椎名小学校	水族館として活用
北海道利尻富士町	旧本泊小学校	地域防災・複合交流施設として活用

※文部科学省「廃校施設活用事例集」より抜粋

比較的小規模の役場職員によるワーキンググループをつくり、昨年度2回ほど検討会を開催したが、

◆質問／今後の利活用計画は。

平館中学校周辺に集中している。そして他の公共施設の老朽度や、旧小中学校の床面積等を考慮に入れれば、旧平館中学校については広域避難所としての機能を生かしながら、支所機能や公民館機能また体育施設の機能を旧平館中学校に移転させたいと考えている。



平館公民館

(参考) 公共施設等への廃校利活用事例

自治体	廃校舎	利活用の内容
奈良県	旧耳成高等学校	庁舎として活用
島根県益田市	旧北仙道小学校	社会教育施設として活用
和歌山県海南市	旧第一中学校	社会体育施設として活用
宮城県加美町	旧上多田川小学校	音楽技能習得施設として活用
高知県室戸市	旧椎名小学校	水族館として活用
北海道利尻富士町	旧本泊小学校	地域防災・複合交流施設として活用

※文部科学省「廃校施設活用事例集」より抜粋

◆再々質問／全国で利用されなくなった学校は多い年で約100校もあつたと聞いています。文部科学省が窓口となり、全国から利活用してほしい出し手側と企業などが活用する受け手側との制度が報道されており、申込等ははしたか。



旧平館小学校



旧平館中学校



平館体育館



石岡 勉議員

# 「特定地域づくり事業組合制度」について

■答弁▼有効と認められれば検討したい

◆質問／本制度は人口急減地域の安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保し、地域の内外の若者を呼び込めるとともに、地域事業者の事業の維持拡大の推進を目的とした制度であるが、町の考えを伺う。

■町長／我が町のような過疎地域の労働力不足解消に有効な制度と認識しており、また、安定した雇用を創出することで、我が町への人材の還流が期待できると考えるが、事業所の多くで繁忙期と閑散期が重なることから、人材のミスマッチが懸念される。しかし、わが町にとつて有効と認められれば検討してまいりたい。

◆再質問／この10月から24歳の女性の方が地域おこし協力隊として、上小国地区に着任するが、この協力隊は3カ年の期限があり、その後の保障はない。

しかし新制度では無期限でマルチワーカーとして働くことができる。この方が安心して定住することが可能と思うので、新制度の利用を考えるべきと思うが。

■総務課長／過疎地の人手不足に対する労働力の確保の策として有効な制度であると認識しており、今後、県と連携しながらこの制度の活用について探ってまいりたい。

## 水害対策について

◆質問／近年、全国各地で大きな水害が多発している。我が町でも昭和40年代に蟹田川や口広川等で甚大な被害が発生した。これまで各河川で改修されてきたが、蟹田本町及び中師地区は当時にくらべ住宅地が拡大している。そこで、現状に対する防災をどう考えているのか伺う。

■町長／平成27年に外ヶ浜町防災マップを作成し、全世帯に配布したが、今年度新しい防災マップを作ることにした。県から新たに示された蟹田川の想定最大規模降雨では、蟹田本町、中師の両地区

は浸水区域が広くなり甚大な被害が予想され、またその中に避難所も含まれるので、新しいマップを作成しスムーズな避難の目安となる物にしたい。

◆再質問／県から新たに示された予想図は役場内では共通認識していることと思うが、災害はいつ起こるか分からない。早めに地域の町内会や消防団等の組織に知らせるべきと思うが。

■総務課長／県から示された最大予想だと住所での蟹田、下蟹田、中師宮本の大部分が0.5メートルから3メートルの浸水の可能性が示された。これについては、新しいマップが出来てから周知



昭和43年8月21日水害 (蟹田中師地区)



昭和43年8月21日水害 (蟹田上町地区)

したいと考えていたが、ただ今御指摘いただいたように、蟹田の方々にはチラシ等で早めに周知したい。



原 芳雄議員

# 交通弱者の足を守る

## —青森大学との共同アンケートの結果は—

■答弁▼JRとバスの接続や中師地区へのアクセスの意見が多かった

◆質問／昨年9月議会の一般質問で「予約式乗合タクシーの早期導入」を求めた際、町長は「青森大学と共同で町民の交通機関利用状況のアンケートを10月に実施する予定であるが、循環バスの利用状況や買物などの調査も行うので、この調査で高齢者の移動外出支援などの課題も見えてくると考え、ニーズの傾向をふまえて検討したい」と答弁していたが、アンケート調査の結果が報告されてい

ない。どのようにまとめられているのか。

■町長／調査の対象は町内2612世帯で調査票の回収は321世帯、回収率は約12%となってい

る。町営バスの問題では、「運行時刻とJRとの接続の改善」が全体の約50%を占め、「運行経路の改善」が約13%、「乗降のしやすさの改善」が約10%であった。

自由記述でも、JR蟹田駅及び三厩駅への接続の意見が特に多かった。病院受診の利便性向上、蟹田中師地区商業施設への路線確保の要望も多くあった。

買物では蟹田地区と青森市での買物をする方が全体の約85%を占め、特に蟹田中師地区で買物する人が多く、同地区へのアクセスの改善を求める意見も多かった。

◆質問／これを受けての改善策は。

■総務課長／JR蟹田駅、三厩駅との接続、蟹田中師地区への買物アクセスなどが多かったため、これらを踏まえてバス時刻の改善を検討したい。

## 三厩地区の現状

◆質問／JR三厩駅発の青森行は5便あるが、1番列車は6時3分発で青森には7時47分に到着する。2番列車は8時16分発で青森着は9時50分である。3番列車は12時37分発である。この1番列車、2番列車に接続する龍飛発のバスがない。1番列車でなければ青森市内の県病、市民病院など

に間に合わないため、高齢者が自動車の免許証を返納したいと思っても三厩駅に行くために返納できない状態である。こうした方々に対する対応をどのように考えているか。

■町長／1番列車は病院に通院する人のほか、通学等に利用する人がいる。現在接続するバス運行が実現できていないが、検討している最中である。接続するためにはバスの運転手は朝4時台の出動になり、こうした問題をどうクリアできるか前向きに検討している。

◆質問／町営バスは、全区間が手を挙げれば降る「フリー乗降」で、時間さえ合えば

■町長／以前も言っていたが、人的資源の確保、経費負担の増加等で課題も多い。バス運行の問題解消を第一に検討することとし、並行して検討していきたい。





福井洋一議員

# ホタテ残渣処理施設の建設は

■答弁▼漁師の方たちの意見を集約し、判断していく

◆質問①／町長は本定例会で、次期町長選挙に3つの柱を掲げ、出馬することを表明した。その1つであるホタテ残渣処理施設の建設が3年間、進まなかった要因は何だと考えているのか伺う。

■町長／場所を決められないことが大きく、漁協及び組合員の意思疎通がうまくできていないことがあったと考えている。

◆再質問／1番の要因は町長の熱意、意欲、やる気、決断力が足りなかったのではないかと。

■町長／私自身は、熱意や決断力などについてはしっかり持っている認識している。

◆質問②／早期にホタテ

残渣処理施設の建設を現実させるには何が必要だと考えているのか伺う。

■町長／建設場所の選定が重要課題で、土地は外ヶ浜漁協が該当地域住民の同意が得られたら再開する。

◆再質問／外ヶ浜漁協に土地を準備していただきという文書をまず撤回すべきである。ホタテ養殖残渣処理施設の用地を探すのも決めるのも行政、町、町長、職員の仕事だと思っている。町長の任期はまだ7カ月あり、町が適地を探す努力をする方向に方針転換すべきと考えるが、見解を伺う。

■町長／現時点で撤回は考えていない。建てる分



ホタテ作業の様子

のお金を助成してくれれば建てなくていいという方もおり、漁師の方たちの意見を集約し、判断していく。町のホタテ養殖業者、漁師の方が困ることがないよう、残渣の処分を町の責任で最後まで見届ける。残渣処分場をつくることにこだわらなくていいという方が多くなっているので、耳を傾けた上で判断したい。

自治会組織について

◆質問／多くの自治会では、会員が減少し、縮小していく自治会会計の中で組織運営、建物の管理、地域の環境整備も含めて、人的にも財政的にも厳しい状況にあると思うが見解を伺う。

■町長／地区の住民が少なくなっていく中で運営するには、会費を上げないといけないけれども年金暮らしの人が多いので頼みにくいなど、そういった要望や切実な思いは多く受け止めている。

◆質問／1人でも多くの若い方々にこの地域に残ってもらうこと、移住などを含めて若い方をふやし自治会活動に関心を

持っていたいただき、参加してもらうことが必要だと思っている。そのためには自治会の財政が健全で組織の運営、活動がしっかりしており、隣人関係が良好で和気あいあいと楽しく、安心して暮らせる地域であることが求められる。昨年の12月議会

で一般質問をした自治会の育成をする補助金の実施について、再度要望する。

■町長／行政と町民とがお互いに知恵を出し、汗を出すことも大事なことだと思っている。町でどのような助ける方法があるか、どのような助成の方法があるかなど研究し、皆さんに示していきたい。



戒 修議員

# 津軽半島エコエネの経理問題の

## 弁護士からの最終報告とその対応を示せ

■答弁▼法的措置を含め適切に対応する

◆質問／7月29日に開催された臨時議会において報告された、第三セクター(株)津軽半島エコエネの経理問題の調査結果について説明を願う。

■町長／まず1点目、エコエネの退職金支出について、その正当性については「合理的な理由がなく退職金規程と異なった退職金を算定したこと、また当該退職金額を支給する旨の議案を株主総会に自ら上程し、その結果退職金規程が想定している金額を大幅に超過する退職金を受領したことは、退職金規程が設けられた趣旨に反するものであり、いわゆる「お手盛り」といえ、不当と考えられる。

ただし、株主総会で承認されていることをふまればエコエネとして当該退職金の支出を承認しているといえる。

このため、エコエネが自らの承認を覆し、損害賠償請求等の法的措置を行うことには、高いハードルがあると思料する。もともと外ヶ浜町がどのような意思決定プロセスで、町の財産であるエコエネ株式の議決権を行使し、退職金議案に賛成したかは今後、検証を行う必要がある、その結果次第では損害賠償を行う余地がある。」とのことであった。

次に2点目、エコエネの会計書類の調査結果に

ついてであるが、「エコエネの業務との関係性が見出せない①本人または本人の後援会等に対する支出、②身内の後援会に対する支出、③エコエネの事業に無関係な第三者のための遊興費の支出がそれぞれ確認された。特に①、②については、個人的な政治的活動の意味合いが強く、本来第三セクターであるエコエネにおいて負担すべきものではなく、この支出に必要な手続きの履践も認められない。

以上から当該支出は、その内容及び手続きに関して会社法の各規制に反しており、当該支出を認められた行為は善管注意義務

違反に当たり、任務懈怠に該当するため、エコエネとして支出額に相当する額の損害賠償請求を行う得るものであると考えられる。」とのことであった。

このような調査結果を踏まえ、エコエネに対して法的措置を含め適切に対応するように指示をしたところである。

### 山居川の土砂の堆積について

◆質問／平館地区の山居川の河口付近の土砂の堆積は、漁船を修理製造する造船所に不自由を生じさせ、災害の危険もある。十分な対策を実行するべきではないか。



山居川河口付近の様子

■町長／この問題は、高坂議員、福井議員からも要望を受けており、今回の補正予算に計上した。御指摘のとおり基幹産業である漁業の根幹である漁船の修理、また製造する造船所というところで、重要な産業と認識しており、災害等を未然に防ぐよう取り組む。

## 新型コロナウイルス感染症対策として 議場などにアクリルボードを設置



議場ではこれまで新型コロナウイルス感染症対策として、議員及び理事者の席、傍聴席の席を一つずつ間隔を空けるなど、いわゆるソーシャルディスタンスを図ってきましたが、第122回定例会では理事者の人数もふえるため、新たな対策として議員席、理事者席、議長席と議会事務局長席にそれぞれアクリルボードを設置しました。

今後、議場では新型コロナウイルスの脅威が収束するまで、この形で対応する予定です。

また、議場のアクリルボード設置に伴い、議会の棟の委員会室で委員会や議員集会などが開催される際にも、新型コロナウイルス感染症対策としてアクリルボードを設置することになりました。

第122回定例会に先がけて8月27日に開催された議会運営委員会から、早速アクリルボードを設置しました。

アクリルボードは議場に設置するものと同じものを使用し、その都度移動して設置します。



安藤英博議員

## 住宅リフォーム支援事業にさらなる支援を

■答弁▼9月補正予算に10件分、200万円予算計上した

◆質問／この支援事業実現に対し再三にわたって議会一般質問で取り上げた結果、町民の強い要望によって前町長のときに実現したものである。

■当時の建設課長から「この住宅リフォーム助成制度はヒット商品だ」と答弁をいただいたことは、今でも忘れることはできない。

◆再質問／この4年間の新年度どれくらいの申し込み者があったのか。この事業がスタートして5年経ったが、これまでの実績、件数、経済効果がどれくらいあったか伺う。

■町長／この住宅リフォーム支援事業については、町民、施工業者からも喜



びの声を多数いただいている。令和2年度現在、10件の申し込みで助成金の合計額は187万5000円となっている。

■建設課長／この4年間の総計申し込み者数が72件、助成金1368万8000円で、事業効果として4年間で1億512万8907円となった。

◆再質問／一回きりの支援ではなく要望があれば再度利用できるようにしていただきたい。

### 塩越旧水産加工場物件の現状について

■町長／一通り支援事業が行き渡ったと判断できようであれば、考えていかなければならない。

◆質問／塩越旧水産加工場空き家物件が長年放置されたままになっており、住民から苦情や相談が寄せられていた。

■再質問／この町有地解体事業費として、総務管理費5163万円が計上されている。この解体に多額の町の税金が使われることから、何社から見積りを取って解体費用がもっと安くなるように

2カ所の旧加工場施設のうち、購入した物件は1カ所なのか全部なのか、これまでの経過の中身について答弁を求めると、

■町長／売却許可については平成29年3月30日である。この建物を最低価格33万1000円で裁判所から担保不動産競売において購入していた。所有権の移転は平成29年4月17日の登記となっている。



塩越旧水産加工場解体の様子

対応できないものか、答弁を求めると、

■町長／当物件の建物内に、資材等が多く散乱しており、また機材や設備、大型の水槽などがあり、すでに解体に伴う設計書を作成したところであり、できるだけ費用を抑えた方法とした。

## 県内施設への表敬訪問



東青地方漁港漁場整備事務所にて



東青地域県民局地域整備部で質問をする記田副議長

外ヶ浜町議会では10月14日、東青地方漁港漁場整備事務所と、東青地域県民局地域整備部を、山崎町長とともに表敬訪問しました。

最初に東青地方漁港漁場整備事務所を訪れ、蟹田、平館、三既の各地区の漁港区域における浚渫や護岸修繕の要望をし、それらに対する県側の検討状況などについて説明を受けました。

次に東青地域県民局地域整備部を訪れ、道路事業、河川事業、海岸事業について要望をし、それらに対する工事の現況などについて説明を受けました。

いずれの訪問先でも、説明を受けた後の質疑において、議員から予算などの課題も踏まえながら、要望の実現に向けた意見交換をしていました。



開署を記念してのテープカットには鈴木議長が参加し、山崎町長達と共にテープに鉢はさみを入れました。

10月15日、9月に完成した中央消防署今別分署の開署式が開催され、外ヶ浜町議会議員も出席しました。

### 中央消防署 今別分署開署式

議会、だよりでは、議会に関するご意見や議会、だよりへの感想、ご要望などの、町民の『みなさんの声』を募集しています。どうぞ、議会事務局（31-1230）までお寄せください。

議会広報特別委員会



10月22日、青森県町村議会議長会主催の正副議長・事務局長研修会が開催され、鈴木議長と記田副議長が出席し、講師の話に耳を傾けました。

### 正副議長 事務局長研修会

### 議会広報特別委員会

委員長：安藤 英博

副委員長：福井 洋一

委員：浜谷 恭市 / 修

高坂 茂 / 原 芳雄

記田 慶市

### 編集後記

平館のおだいはオートビレッジやおかりや公園の周りほぼ終わり、稲の刈り取りもするようになった。

私たちに与っては当たり前のように移り変わる季節、この日本の春夏秋冬のメリハリが外国の人々には新鮮で、あこがれや神秘的な魅力につながり、日本を訪れるきっかけともなっているという。

例年と変わらぬ秋の景色の中で、一次産業はコロナウイルスの影響を受けて魚価は低迷を続け、米価も下落が予想されている。

既存の物に新しい価値を付けることや、新たな販売方法、販売先の開拓など、取り組むべきことに一つ一つ向き合っていくかなければならない。

高坂 茂